

今より少し便利で イケてる生活へ

香川県立高松養護学校 谷口公彦



Sさんのお宅からのSOS



- 重度の身体障害、構音障害
- ヘッドスティックでパソコンを操作
- パソコンが調子悪くて不安
- 買い換えたいけど、専用ソフトや機器がたくさんで難しい
- 手伝ってくれる人が近くにいない

Sさんのパソコンでの活動

5月15日

家族の5人でさつきさんの車で朝の7時30分頃に家を出て善通寺から高速道路を走って須崎まで行き途中でトイレをしたり食事をしたりして高知県の足摺岬灯台に行きました。

・・・中略・・・

しかし足摺に行く道がくねくねしているから車がまがっているので僕もからだがまがってます。



10月8日さつきさんと僕はパソコンをしている





- パソコンの入れ替え
- 専用品の後継製品探し
- 「重度障害者意思伝達装置」給付制度利用
- 電気店で、納品やセットアップの依頼
- 古いPCからのデータの救い出し etc

実際にご自宅への訪問を重ねながらサポート

Sさんのお宅からのSOS



- 何とかアップデート完了！
- パソコンでの活動も維持
- 情報収集、手続き、そして
トライ&エラーの連続
- 時間の工面
- 他に同じ状況の人がいる…
- 個人活動では、行き詰まる
なあ。

ATサポート研究会



- ・職場の同僚や後輩
- ・大学の先生・学生
- ・福祉関係者、施設職員
- ・リハ関係の先生



現場での現物合わせをモットー

2～3人のチームを組んで出向くこと

試作・試用の費用は利用者が負担

サポート内容・ノウハウを共有、蓄積

- 行ってみて初めて分かることが多いこと
- 生活にはいろいろな事情が絡んでいること
- 身近な人からのナチュラルなサポートの重要性



生活の場に入って、いろいろなことを見聞きする機会

キヨさん（当時30代）

本校卒業生

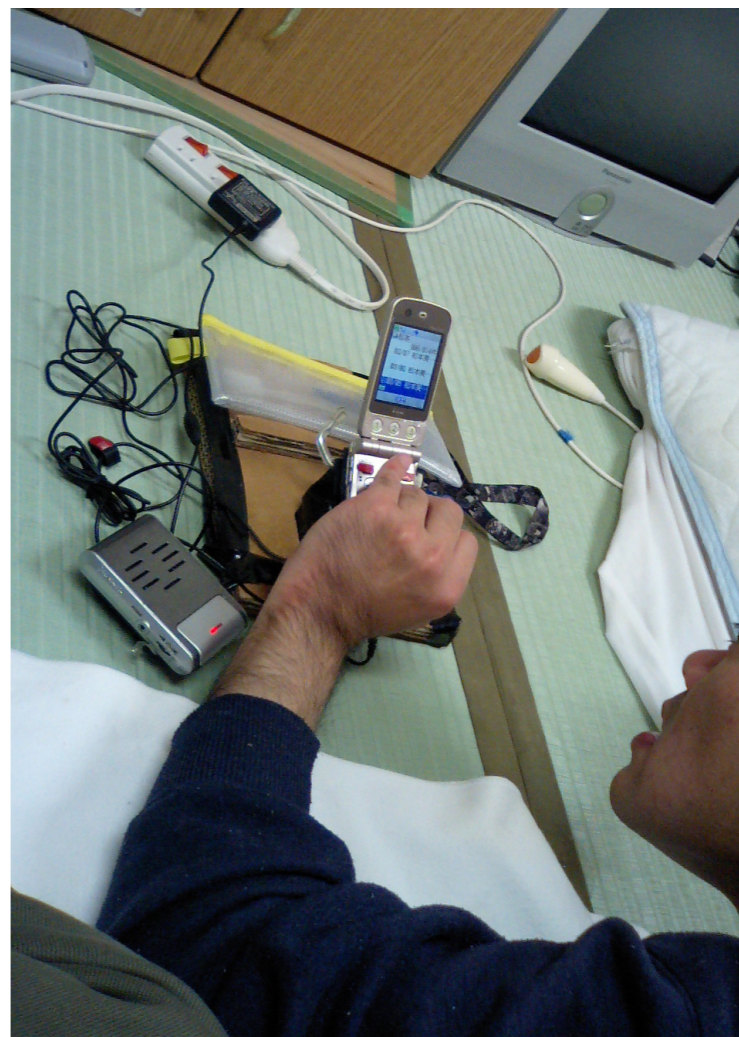
入所施設で生活

学生時代からワープロを始め

パソコン歴は十数年



僕って・・・携帯電話って・・・使えないかなあ



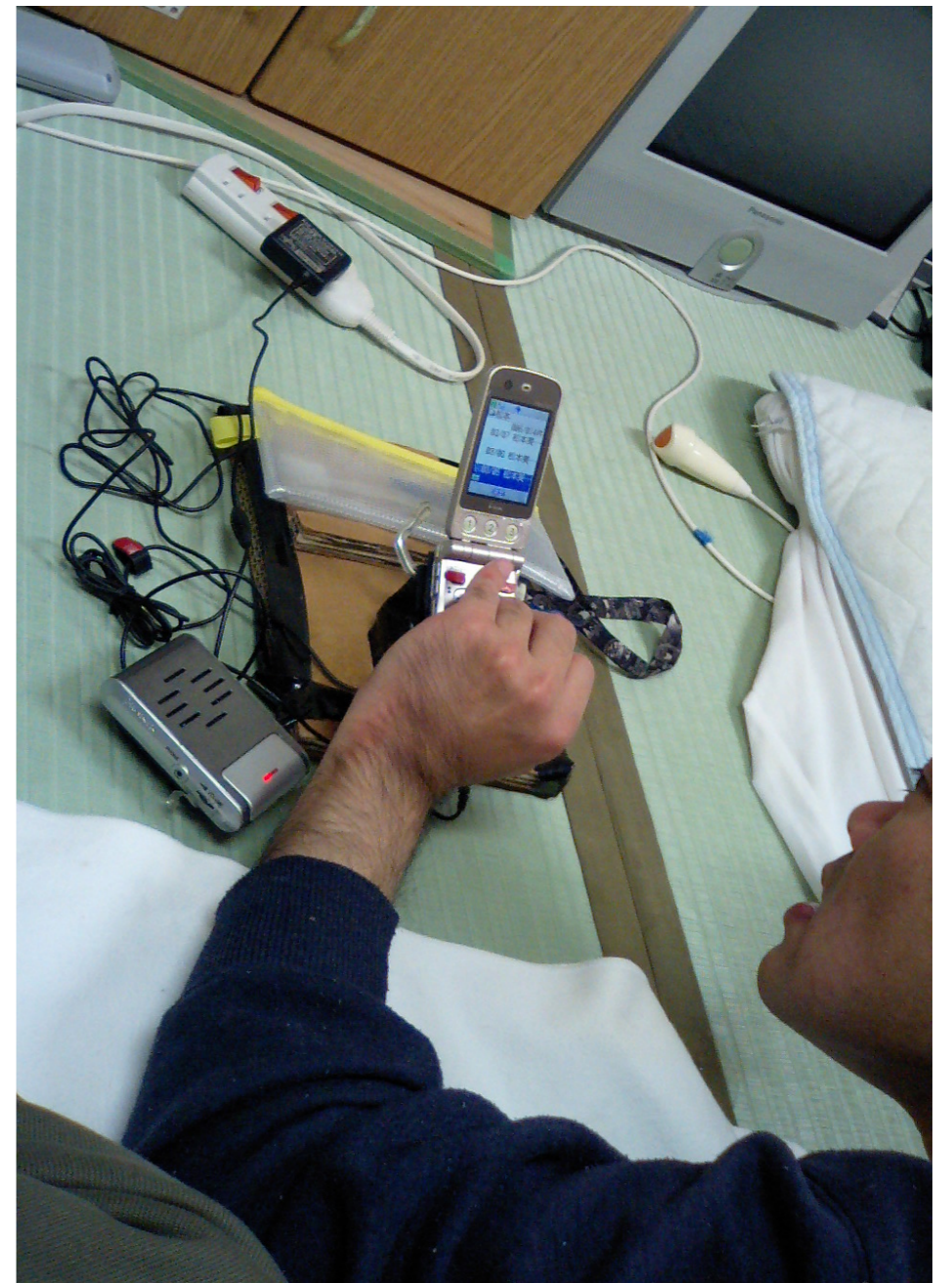
想像を超える活用ぶり

自室での電話、メール

プライバシー
遠慮・タイミング

「思いついた時に、
誰に連絡しても構わない」

道具がもたらしてくれた行動の自由



10年分、時計の針を進めてみます

next

現在のキヨさんの携帯電話
(ほとんど変わっていません)



next

- できていることを維持したい希望
- 新しい機器が自分に使えるか、取り替える不安
- 情報の届かなさ
- 長い時間が過ぎてしまい、乗り換えには大きな労力



スマホへの乗り換えを手伝って欲しい

今よりも、少し便利でイケてる生活

- キヨさんとの連絡、やりとりに困りを感じていた。
- 機器が、必ずしもキヨさんの活動の実現に役立っていないのでは・・・？



キヨさん視点

- 携帯メールの入力が大変になってきた
- 返信が面倒で、そのうち忘れる
- メール楽しさが減ってきた。
- 届くメールも少なくなった・・・

谷口視点

- 用件はメールで教えてほしい（時間がかかるので）
- メールの返事がこない
- 返事がないまま、やりとりが途切れる



キヨさん視点

- できれば電話ですませたい
- 出してもらえないことも多い
- 要件を言い切らないうちに切られてしまう
- それでも携帯電話は大切

谷口視点

- ズレなく会話をするのに時間がかかる。
- 「ついでに」が多くて終わらない
- 長くなりそうで電話を受けられない。掛け直しも躊躇
- 面会の頻度はすぐ下がる



キヨさん視点

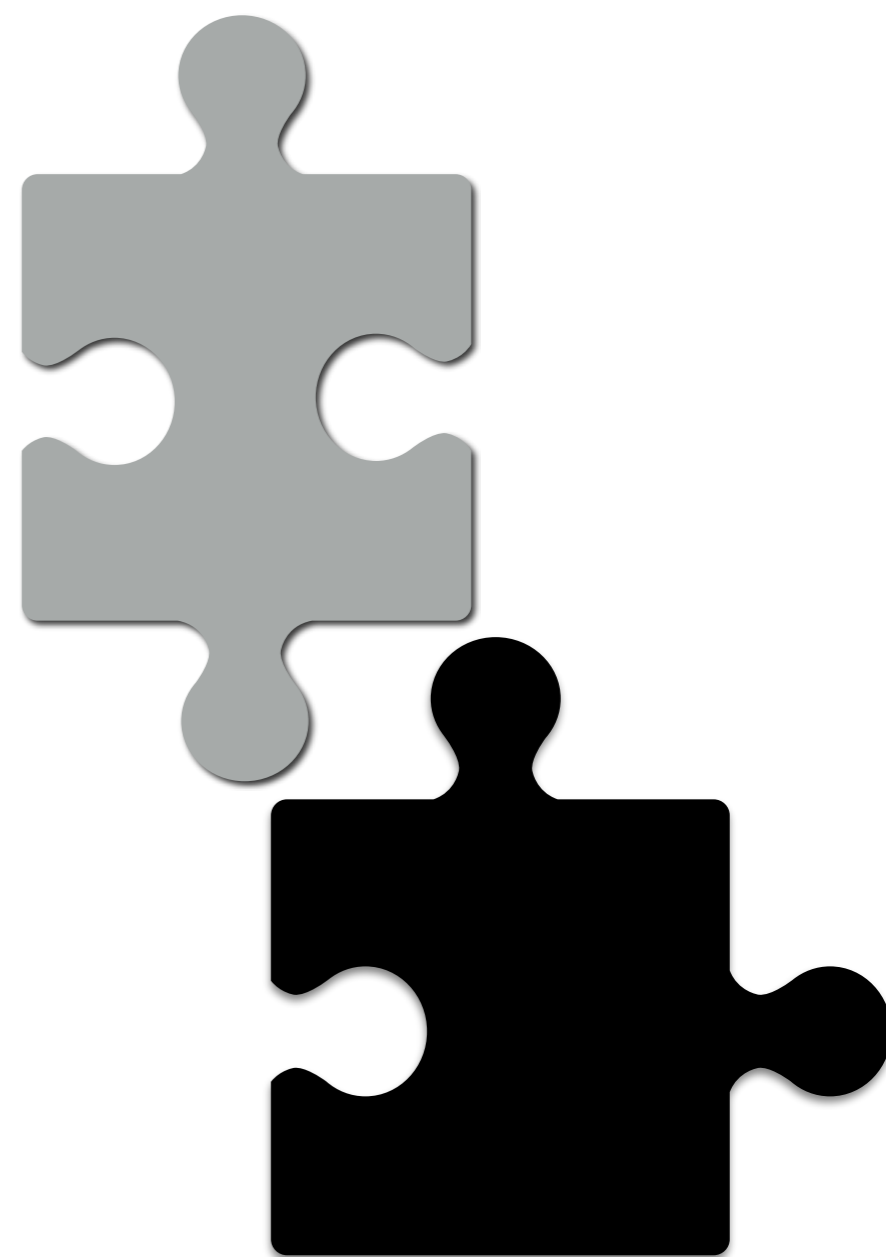
- 頼み事があって、電話しても繋がらなかったり、返事がなかったりして「困ったなあ」と思うけど、怒ってはいない。そんなものと思っている。今まで何度もあったし。
- でも、返事がこないうちに、他の人に頼むのはいけない気がして気を遣っている。

連絡手段についての
お互いの事情の食い違い

相談ごとが解決しない
希望が叶わないまま

付き合う人が減っている

ATサポート研究会も
メンバーの生活状況の変化に
対応できず、活動力は低下



時間軸のズレ？

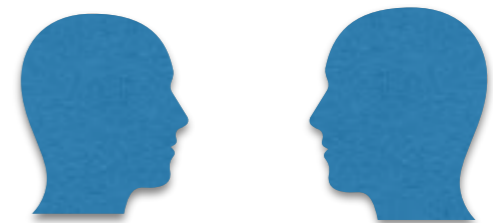
- 会話や活動にかかる時間の違い
- 1日の時間の流れの違い
- 生活に変化が起こるペースの違い



解決への仮説

- スマホやタブレットの導入を「パッとやる」
- 3つの連絡手段を、特徴に合わせて最適化してみる
- 機器の導入、連絡手段の見直しで解決しない課題に取り組む

解決への仮説 (連絡手段の役割の見直し)



内容軽く
頻度の改善

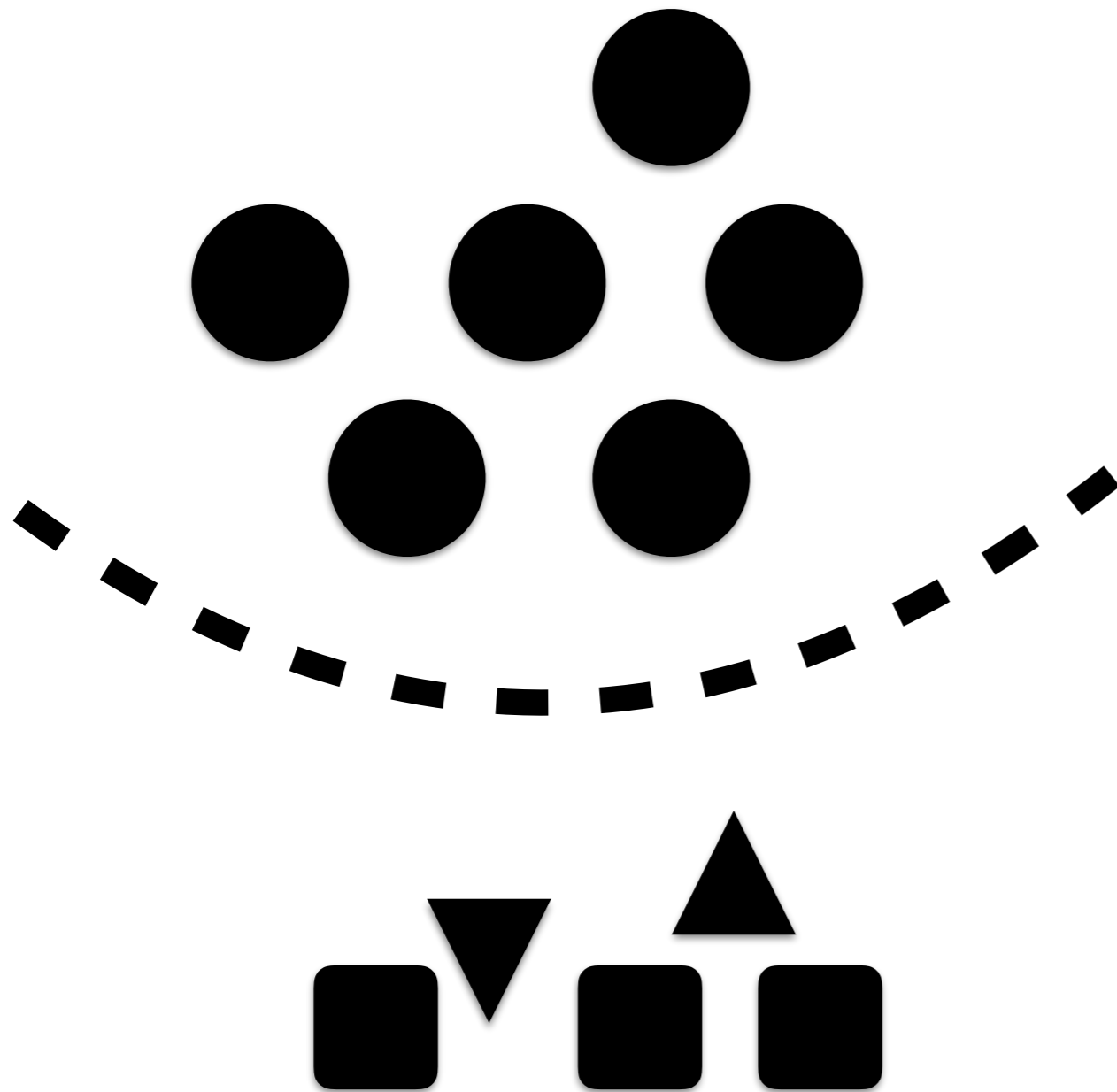
要件の伝達

ズレの確認



スマホを届けたときの様子

お互いに「想定外」を楽しみながら



機器活用・手段見直しで
解消する部分

考え方の転換や
アイデアの勝負！？

やっぱり残る部分